



子ども探偵



2025.11.02



一般社団法人子どもアドボカシーセンターKYOTO



はじめに、子ども探偵を
お手伝いしてくれる

「子どもアドボケイト」の
説明を聞きます。

子どもアドボケイトは、
子どものどんな気持ちも
大切に、丁寧に寄り添い
話を聴く人のことです。

子ども探偵に変身し、
早速スタート！
迷路に隠された5つの
ミッションを探します🔍





ミッションを発見！

アドボケイトのサポートを受けながら、自分の感じた気持ちを一生懸命文字にします 🖋️

迷路には落書きコーナーも！
イラスト、感想、好きな言葉、
思いついた言葉など、思い思いに
書き込みます 🎨



「あっちにミッションあったよ！」

「お宝はこっちだよ！」など

お互いに教え合う優しい場面も 🌱



ミッションを通して自分の
気持ちと向き合い、
のびのびと楽しむ子ども
たち。

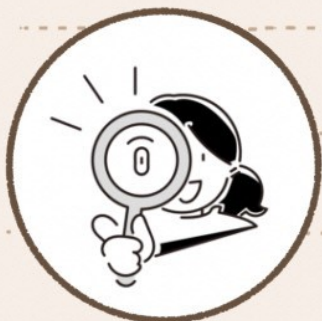
ゴールでスタンプを押して
もらい、迷路クリアです😊

迷路をクリアし、最後の
ミッション「南丹市が
どんなまちになってほし
い？」にみんなで取り組
みます🖍

「みんなで遊べる公園が
欲しい!」「平和なまち
がいいなあ」など、色ん
な意見が出されました。



参加者の方に感想を聞いてみました🎤



弟と一緒に参加したよ！
迷路やお絵かきができて楽しかった！



友だちと一緒に迷路ができて楽しかった！
お宝も発見できて嬉しい！



学校で配布されたチラシを見て、子どもが
「楽しそう！参加したい！」と言っていて
申し込みました。
のびのびと楽しめたようで、よかったです。

\団体の方にお話を伺いました/

Q. 昨年度に引き続き、子ども探偵を実施して
いかがでしたか。

もっと子どもの素の声を聴きたい、
その想いを届けたいと思い、
今年度は迷路を使った子ども探偵を企画しました。
前年度のワークショップ形式に比べ、迷路で体を
動かしながらミッションに取り組んだことで、
子どもたちもリラックスした様子で色々な気持ちを
聴かせてくれました。

アドボケイトの存在が子どもたちにとって、
お守りのような存在 になればと思っています。
今後も様々な機関と連携しながら、子どもの声を
聴き、気持ちを届ける支援を続けていきたいです。